

温かな心のこもった医療

Hekinan Municipal Hospital



碧南市民病院

薬剤部

本日の内容

- 碧南市民病院の概要
- 薬剤部の紹介
- キャリアデザイン
- 勤務形態
- 育児・介護と仕事の両立支援
- 碧南市民病院だからできること

碧南市民病院の概要

所在地：愛知県碧南市

(愛知県の南部に位置する

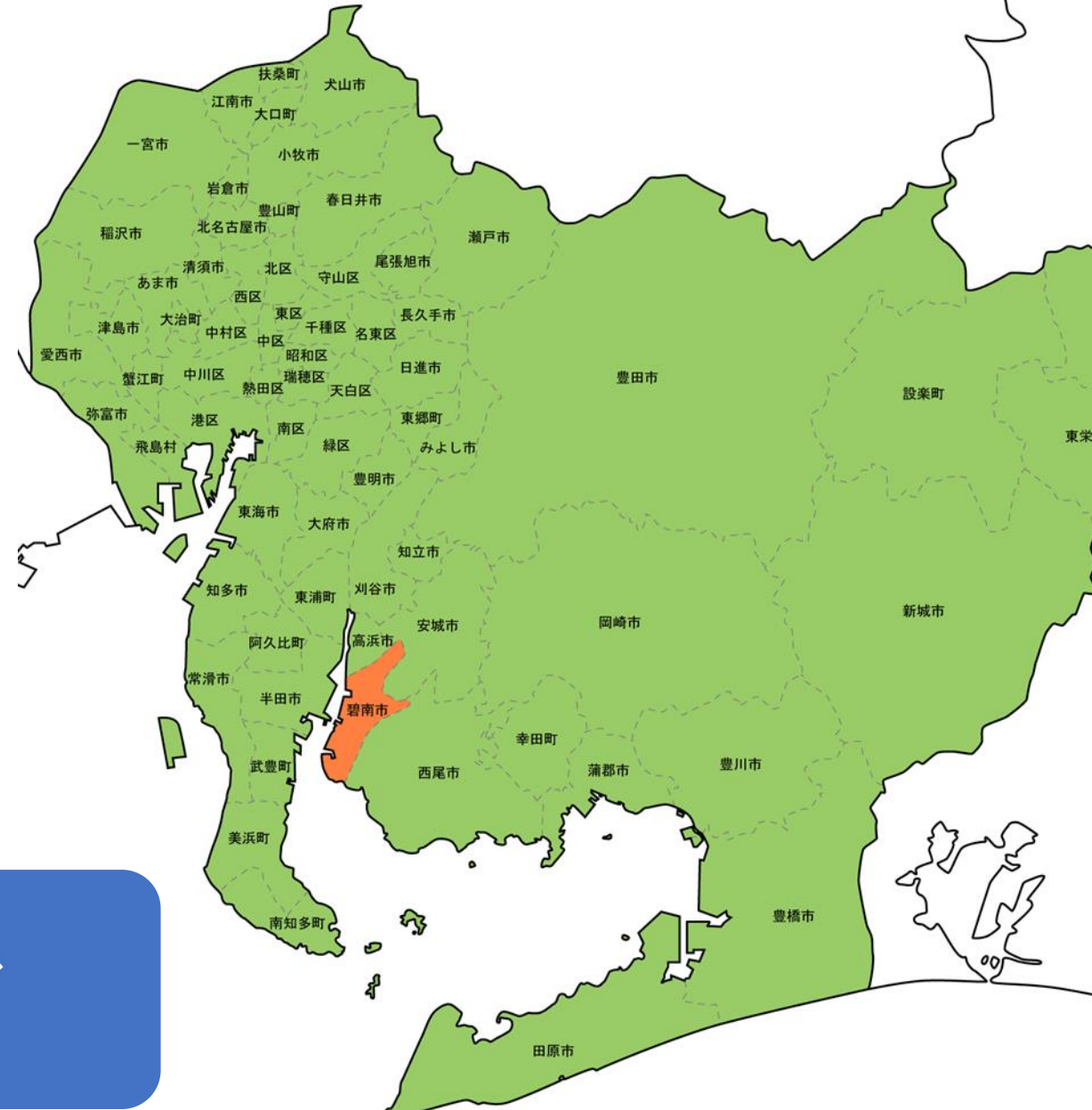
人口約7万人の市

農業、漁業と工業が主な産業)

医療圏：隣市の高浜市他、

近隣地域の医療を担っている

碧南、高浜、西尾、岡崎、安城、
刈谷、豊明などから出勤



碧南市民病院の概要

- 平成元年 開院
- 第2次救急指定病院

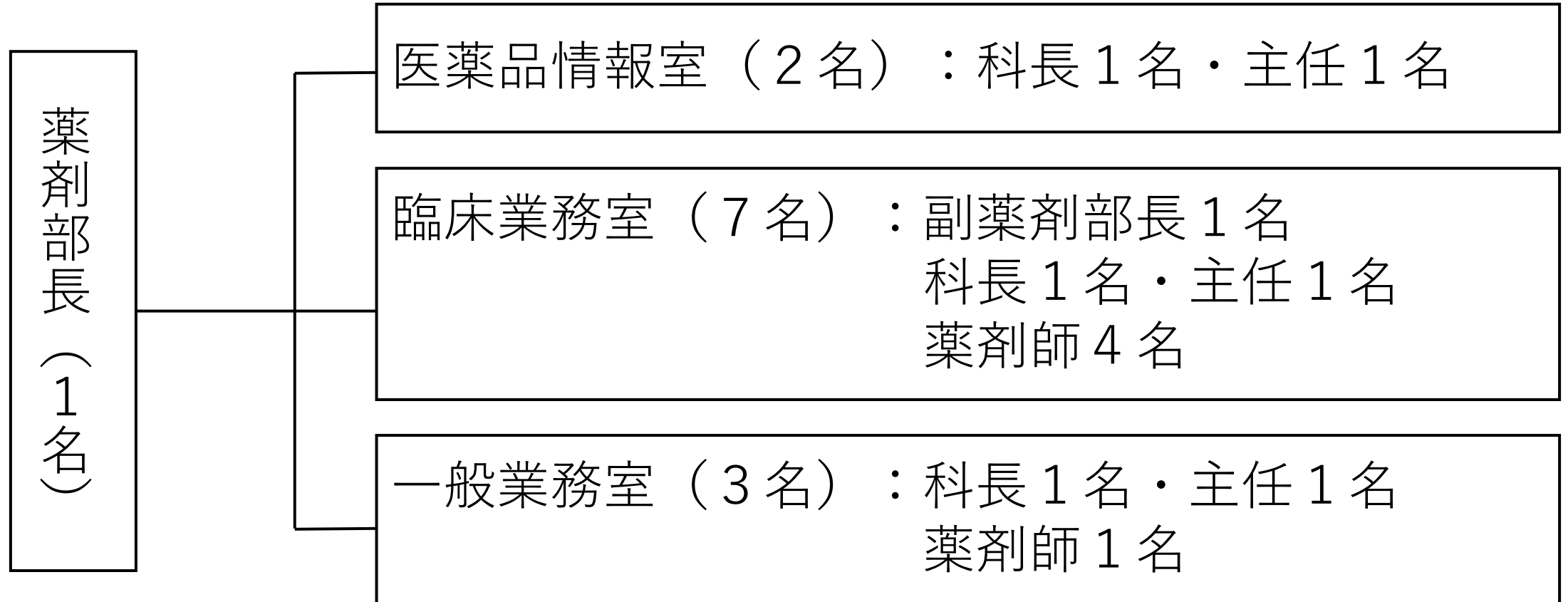
- 診療科（20科）

内科、アレルギー科、循環器内科、メンタル科、神経内科、外科、小児科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科

- 病床数：一般病床：255床 ※地域包括ケア病床45床含む
- 院外処方発行率 72.0%
- 院内処方箋枚数 外来1828枚/月 入院1175枚/月

薬剤部の紹介

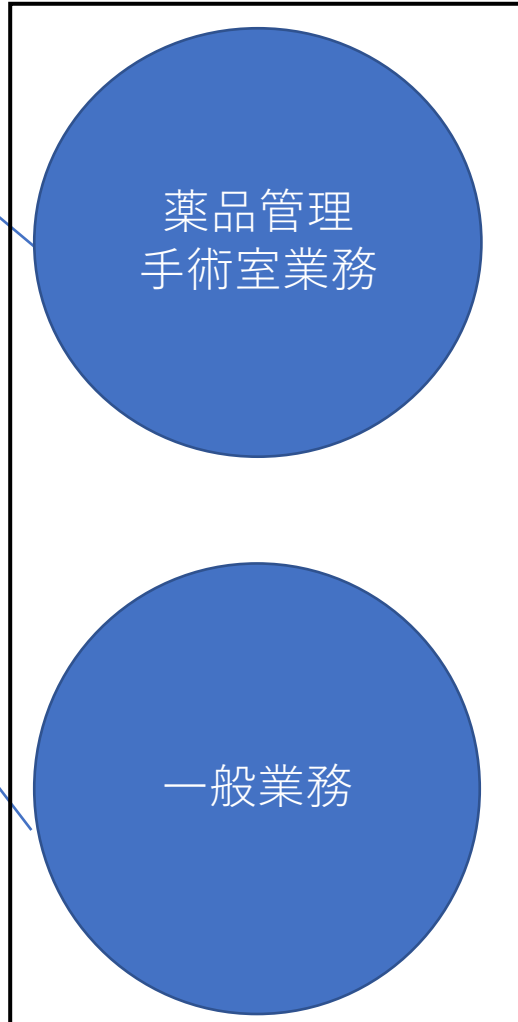
- 薬剤師数：16名（うち育児休暇中2名、病気休暇中1名）
- 薬剤事務：4名



薬剤部業務

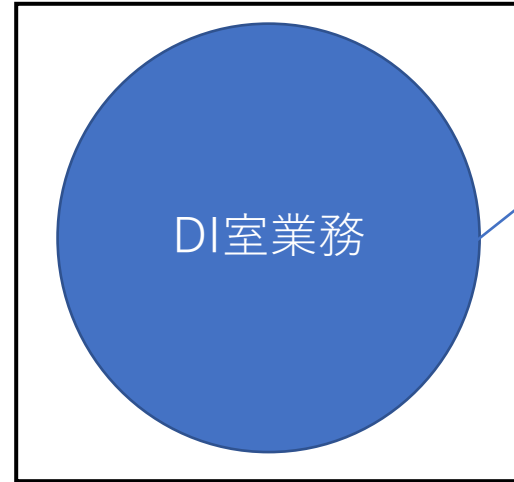
一般業務室

- 品質管理
- 発注、在庫管理
- 手術室薬剤管理
- 麻薬、麻酔薬の代行入力



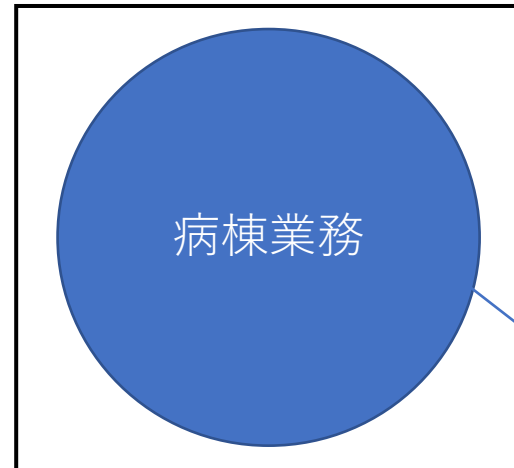
医薬品業務室

- 医薬品情報管理
- 副作用の一元管理



臨床業務室

- 病棟薬剤業務
- 薬剤管理指導業務
- 持参薬鑑別業務
- 注射薬混注業務



- 外来・入院調剤
- 注射薬個人セット
- 製剤調製

【業務紹介】

- 医療安全と効率化のため、薬剤事務や機械の導入を積極的に
行っています。
- 薬剤師でなければできない仕事が最大限にできるような工夫が
されています。
- 薬剤師の1日について紹介します。
 - ◆入職～半年 研修期間
 - ◆半年～1年 一般業務室担当、病棟業務研修期間
 - ◆2年目以降 病棟業務担当

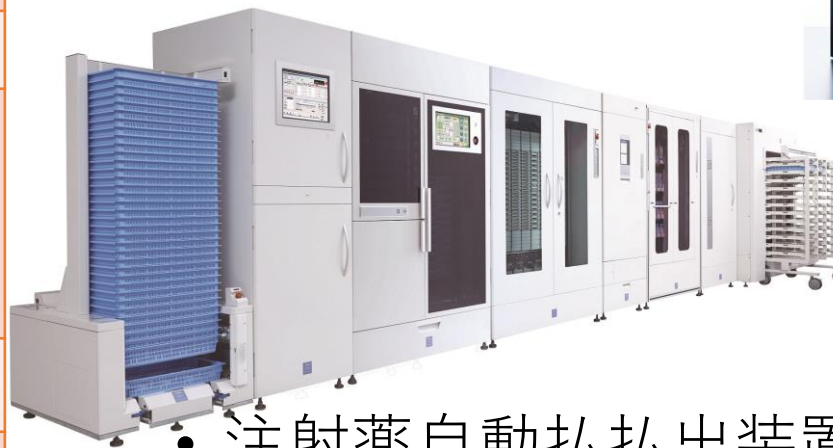
◆入職～半年 研修期間

< 薬剤師の1日 >

業務	仕事内容
調剤業務	<ul style="list-style-type: none"> 電子カルテと調剤機器が連動 調剤過誤回避のため、様々な鑑査システムを導入してチェック 処方箋に表示されるミニ薬歴を用いて、麻薬の開始時期や薬剤の切替などをチェック
お昼休み	
注射業務	<ul style="list-style-type: none"> 添付文書の禁忌、注意事項をシステムでチェック チェックリストを元に鑑査 病棟薬剤師によるWチェック
業務終了	
	自己研鑽のため院内・院外の勉強会へ参加

調剤室

- 一包化錠剤監査支援装置 TabSight
- 持参薬鑑別支援装置 TabJude
- 鑑査レンジ（薬剤の画像、バーコードで照合）など



注射室

- 注射薬自動払出装置（アンプルピッカー）を用いて使用薬剤を患者ごとに分け、1施用毎にセット

◆ 入職～半年 研修期間

✓ 他部門見学

臨床工学室・リハビリテーション室・画像診断室・栄養室・中央検査室・地域連携室・事務室を見学、体験します。

他職種との連携を目指すうえで、まず相手の仕事を知ること、自分の役割について考えることができます。

また、どのように患者さんに関わっているかを知ること、様々な視点からの医療への関わりを意識できるようになります。

◆ 入職～半年 研修期間

✓ 調剤・注射・製剤業務

先輩薬剤師がプリセプターとしてサポートします。
各薬剤師が新人薬剤師マニュアルに基づき、チェックしながら
半年後には当直が行えるよう一般業務を中心に習得していきます。

✓ 自己研鑽

日病薬薬学認定薬剤師は、認定単位を3年間で50単位取得し、
認定試験に合格することで取得できます。

当院では入職4年目で日病薬薬学認定薬剤師を取得しています。

◆半年～1年目 一般業務室担当、病棟業務研修期間

< 薬剤師の1日 >

業務	仕事内容
病棟業務	<ul style="list-style-type: none">看護師のショートカンファレンスに参加し、入院患者の情報収集薬剤管理指導医師、看護師からの質問対応
お昼休み	
注射業務	<ul style="list-style-type: none">翌日の注射剤個人セット
製剤業務	<ul style="list-style-type: none">院内製剤調製
	<ul style="list-style-type: none">病棟会議
業務終了	

✓ 一般業務独り立ち

薬剤師として1カウントとなり、一般業務を主として担当します。

✓ 先輩薬剤師とともに病棟業務

病棟では1人の薬剤師として様々な相談や質問をされるようになりますが、困ったときはすぐに相談できる環境にあります。経験が浅いうちから病棟に配属されることで、薬剤師として何が必要とされているかを考えながら働くことができます。



◆ 半年～1年目 一般業務室担当、病棟業務研修期間

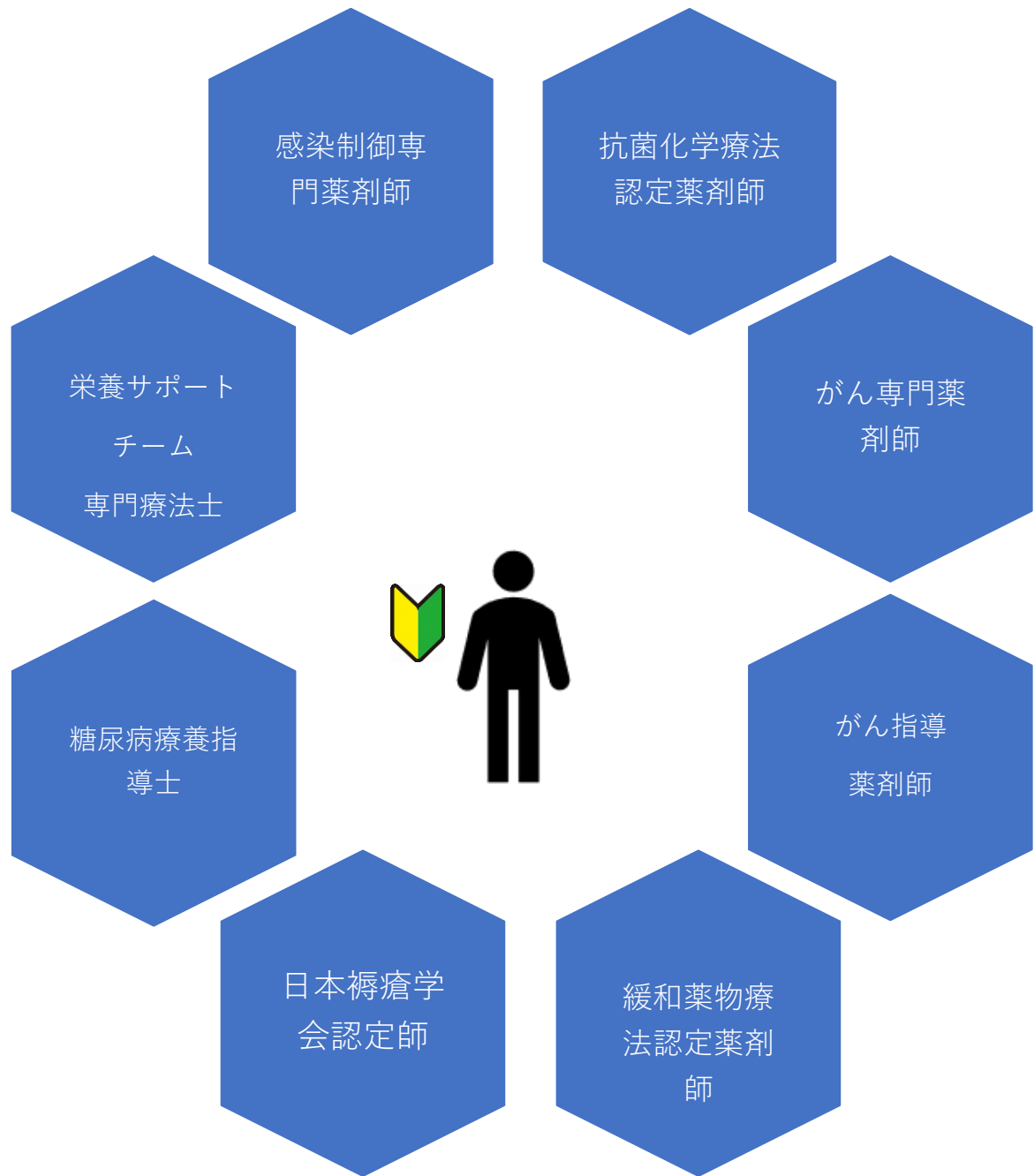
✓ フィジカルアセスメント研修

当院の内科医によるフィジコ（フィジカルアセスメントモデル）を用いた講義や外部講師によるフィジカルアセスメント研修を通して、病棟で患者さんを見ていく上で、必要となる知識や技術を習得します。

✓ 病棟会議

病棟会議を行い、病棟間での情報交換や業務をより円滑に行うため議題を設けて話し合います。

DI担当者も交えて、院内で発生した副作用報告や医薬品情報の共有を行なっています。




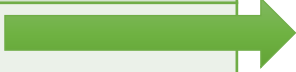
- 多分野での専門知識を持つ薬剤師が日常業務のみならず、学会発表、専門・認定資格の取得などにおいてもサポートする体制ができています。

- 自分の興味のある分野を極める事ができる環境にあり、当院でも様々な専門分野を持つ薬剤師が活躍しています。

◆2年目以降 病棟業務担当

外科病棟の場合

< 薬剤師の1日 >


業務	仕事内容
抗がん剤調製業務	<ul style="list-style-type: none"> 調製支援システムを導入による抗がん剤調製 全ての抗がん剤に閉鎖式接続器具を使用し、調製する薬剤師だけでなく、投与を行なう看護師も安全に取り扱えるよう曝露対策
病棟業務	<ul style="list-style-type: none"> 抗がん剤投与患者初回説明 副作用予防対策について提案 投与後の副作用モニタリング
お昼休み	
	在宅訪問診療 医師、看護師とともに患者宅へ 
病棟業務	<ul style="list-style-type: none"> アドヒアランス確認 患者の状況に応じた処方提案 多剤併用、重複投与に対して減薬検討
	症例検討会 



前に外科入院していた〇〇さんの訪問診療の依頼が来たんだけど、一緒に行ってくれるかな？

在宅行ってきます！

毎月症例検討会を行っています。若手の薬剤師が症例を提示し、意見を出し合います。

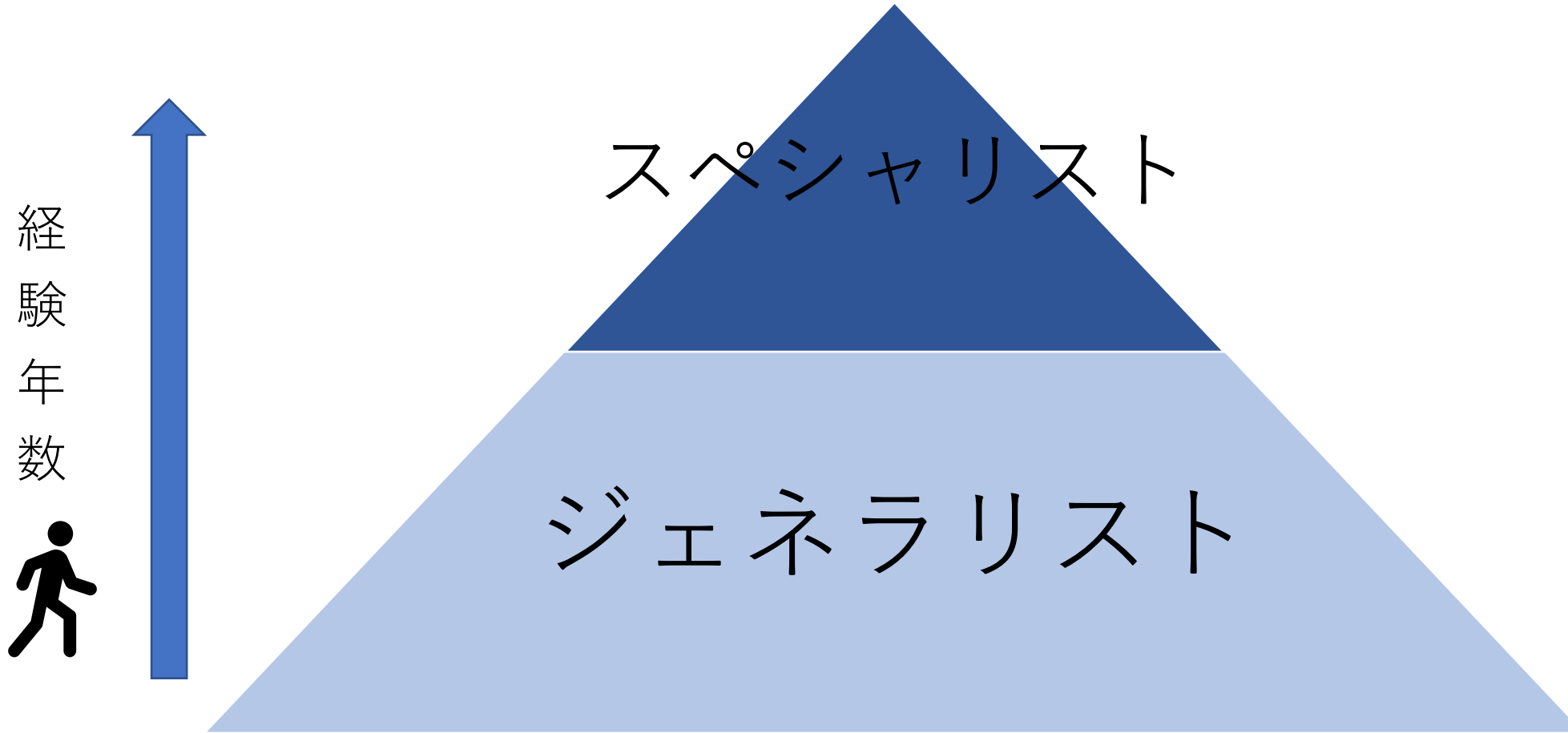


◆2年目以降 病棟業務担当

✓ 病棟専任薬剤師

- 当院では全病棟に専任薬剤師を配置しています。
- 患者さんへ投薬前の説明やアドヒアランスの確認、副作用のモニタリングなどを行っています。
- 病棟カンファレンスや回診などにも参加し、医師、看護師、メディカルスタッフと情報交換しています。
- 持参薬鑑別、抗がん剤調製、IVH調製は毎日担当を決めて業務に取り組んでいます。

キャリアデザイン



✓専門性を高める前に、まずは薬剤師としての全般知識を極めます。

キャリアデザイン

◆1～9年目：ジェネラリスト研鑽期間

- 2年ごとに病棟ローテーション
- 新任、中堅薬剤師研修
- 医療薬学会入会、学会参加
- フィジカルアセスメント研修
- 学会発表
- 日病薬薬学認定薬剤師取得

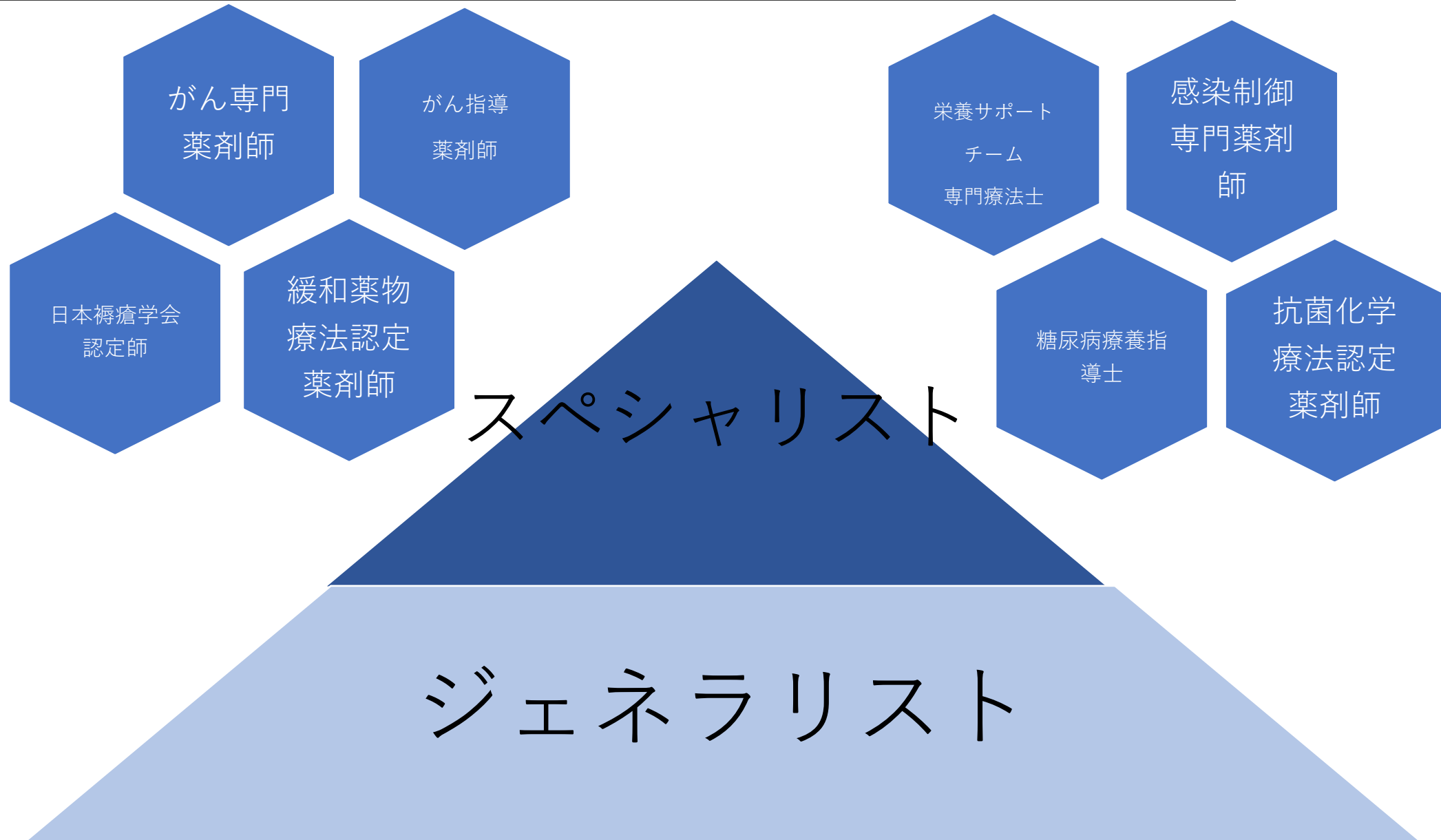
◆10～25年目：スペシャリスト研鑽期間

- 専門領域学会入会
- 論文執筆1報
- 専門、認定薬剤師取得

◆26年日以降：マネジメント研鑽期間

- 薬剤部管理研修
- 医療薬学会指導薬剤師取得

当院では様々な専門分野の薬剤師が活躍



育児・看護と仕事の両立支援



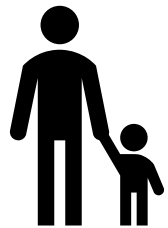
- 産前休暇：出産の予定日以前8週間
- 産後休暇：出産日翌日から8週間

- 育児休業：子どもが3歳になるまで
- 授乳休暇：子どもが1歳になるまで



- 妻の出産による特別休暇
：出産前後2週間で2日間

- 男性職員の育児参加のための休暇
- 産後パパ育休制度



- 育児短時間勤務
- 子の看護休暇：小学3年生まで年間5日間
- 育児を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限
- 病院内に託児所完備

介護と仕事の両立支援



- 介護休暇
- 短期の介護休暇
- 介護を伴う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限

ライフステージが変化しても働きやすい職場なので、
離職率が低く、安心して長く務めることができます！

碧南市民病院だからできること①



患者さんに寄り添った医療を提供しています。

- 基本理念である「温かな心のこもった医療の提供」に基づいて、地域密着型の病院であるため、患者さんひとりひとりと丁寧に向き合い、患者さんから様々なことを学ぶことができます。
- 地域医療に力を入れており、地元の患者さんが多く、生活背景も考慮した薬物療法を提案しています。

碧南市民病院だからできること②



部署間の垣根がなく、職種を超えて
何でも話し合える関係ができています。

- 医師、看護師、ソーシャルワーカーなど多職種と気軽に話すことができるため、お互いに意見交換をしながら患者さんへ安心の医療を提供しています。
- 他職種と話し合うことで、薬剤師としての視点だけでなく、医療者としての視点を持つことができ、臨床で活躍できる思考を自然と身につけることができます。

碧南市民病院だからできること③



薬剤師として地域医療へ貢献しています。

- 訪問看護ステーション、地域連携室、薬剤師会、病院薬剤師が話し合う場を設け、地域医療を円滑に進めていくため、地域で必要とされている意見を迅速に収集、反映しています。
- フィジカルアセスメントや褥瘡処置など在宅で役立つ内容を薬薬連携勉強会として共有するとともに、地域の薬局薬剤師とお互い顔が見える関係を築いています。また、薬剤師会と連携し、手術前中止薬の確認や吸入指導、がん指導などを行っています。



臨床での様々な知識を身に着け、
患者さんに最適な薬物療法が提供できる
薬剤師と一緒に目指しませんか。